

神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年10月12日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第 40週 平成29年10月2日 ～

平成29年10月8日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	2	1					5	1	1	10					1		1	1	2			1			1		1	2		

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
R Sウイルス感染症	7	1	1	2	7		6	14	7	45	6	8	16	10	3		2							
咽頭結膜熱	1				2					3			1	1						1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	1	2		3		3	1	7	20					1	4	6	5			2	1		1
感染性胃腸炎	1		2	3	9	10	16	37	12	90	1	5	8	13	11	7	7	8	4	3	2	9	6	6
水痘	1		2			1		3	6	13			3	1	1			2	1	2		3		
手足口病	2	2			1		1	1		7			2	1		2		1		1				
伝染性紅斑																								
突発性発疹			1				4		5	10		4	6											
百日咳																								
ヘルパンギーナ			1		1	1			1	4		2	1							1				
流行性耳下腺炎	2	1	1		3	2		1	2	12						1	3	4	1	1		2		

毎年、冬季は、ウイルス性胃腸炎が流行します。
病因ウイルスとしては、乳幼児の嘔吐下痢症の原因となるロタウイルスや全年齢でみられるノロウイルスなどがあります。
感染後、1～2日後に嘔吐、下痢等の症状を呈することが多く、発症後、2～3週間は便中にウイルスが排出されます。
当疾患を含む、定点医療機関からの感染性胃腸炎の報告数は、例年並みで、まだ警報レベル（定点あたりの報告数が20人以上）ではありませんが、神戸モデルの連絡票（※）では、既に数ヶ所の未就学児施設から、ウイルス性胃腸炎が複数名発生している事例の報告があります。普段から、十分な手洗いを励行し、施設等では、警報レベルになる前に、次亜塩素酸ナトリウムを用いた消毒の準備等を行い、感染を予防しましょう。

眼科

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

疾病名称		東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																														
流行性角結膜炎		2					2				4														1	1	2			

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

灘 区○マイコプラズマ肺炎1例:6歳 男
北 区○細菌性腸炎(病原性大腸菌O1)1例:1歳 男
○細菌性腸炎(病原性大腸菌O18)1例:8歳 男
○細菌性腸炎(病原性大腸菌O125)1例:0歳11ヶ月 男
垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:年齢性別不明

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「山情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

【市内の感染症の状況】

○RSウイルス

RSウイルス患者の報告が、定点あたり1.5人となり、先週と比較してやや多いです(先週1.4人)。
患者数は、過去10年同時期と比較して、多い数で推移しています。

【海外に渡航したみなさまへ】

海外では、さまざまな感染症が流行しています(蚊媒介感染症など)。

渡航後、約1ヶ月の間に体調が悪くなった場合は、速やかに医療機関を受診しましょう。また、受診時は、海外渡航歴を伝えましょう。

[ここに注意！海外渡航にあたって|FORTH](#)

【コメント欄の用語解説】

※ 神戸モデル(感染症早期探知・地域連携システム):地域・学校園・施設・医療機関等と保健所・区との連携強化により感染症予防を図る取組み。

[神戸モデルについて | 山情報センター](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2017年10月12日作成

全数把握対象感染症発生状況 （二類感染症 結核）
結核届出患者数は10人(うち潜在性結核感染症4人)です。

全数把握対象感染症発生状況 （三類感染症 腸チフス）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	20代	2017年8月14日	2017年10月2日	2017年10月6日	-	分離・同定による 病原体の検出（血液）	高熱 比較的徐脈 便秘	不明	渡航歴あり (バングラデシュ)

全数把握対象感染症発生状況 （四類感染症 A型肝炎）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	10代	2017年9月22日	2017年10月2日	2017年10月4日	-	血清IgM抗体の検出	発熱、黄疸 肝機能異常	不明	渡航歴あり (パキスタン)

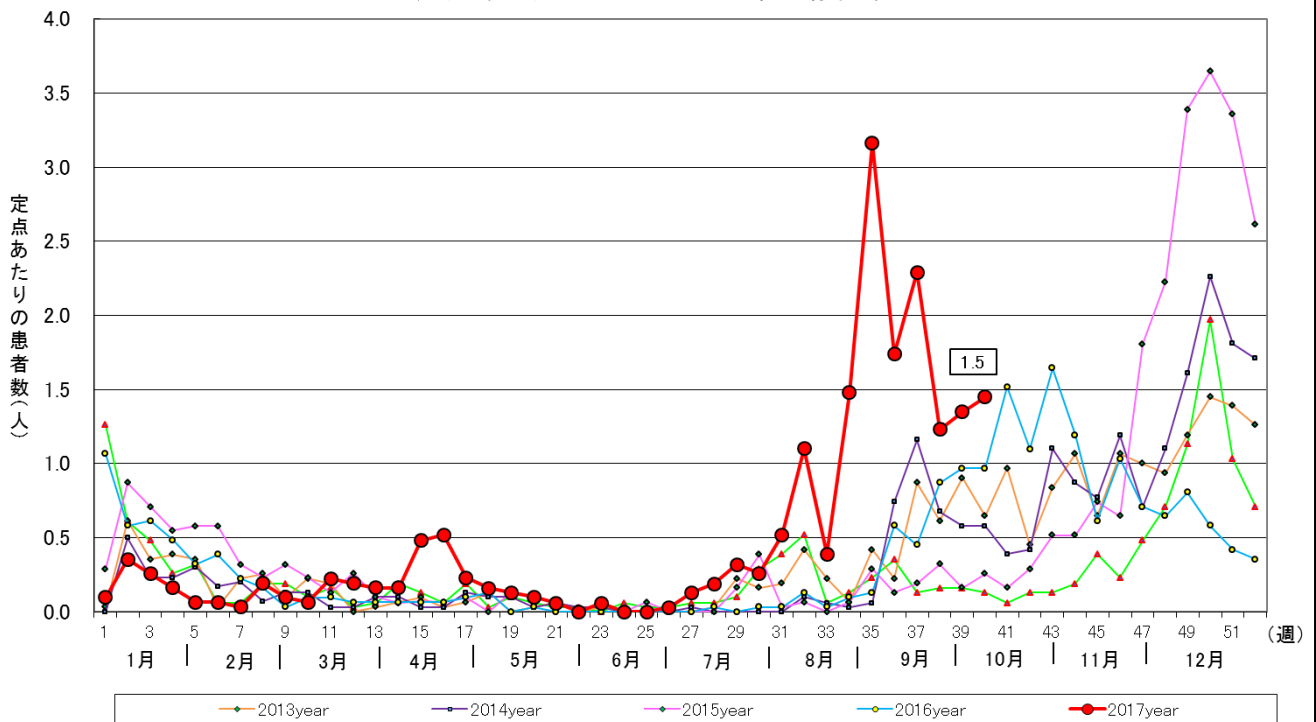
全数把握対象感染症発生状況 （五類感染症 ウイルス性肝炎）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	30代	不明	2017年9月25日	2017年10月2日	B型	血清でのIgM HBc抗体 の検出	全身倦怠感 黄疸、褐色尿 肝機能異常	同性間性的接触	-

全数把握対象感染症発生状況 （五類感染症 梅毒）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	10代	2017年8月	2017年10月5日	2017年10月5日	早期顕症梅毒Ⅰ期	RPRカードテスト法 TPHA法	初期硬結	異性間性的接触	-

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
コクサッキーウイルスA10型	咽頭ぬぐい液	中央	4歳8ヶ月男児(9/25採取、39℃、ヘルパンギーナ)
エコーウイルス9型	咽頭ぬぐい液	中央	1歳9ヶ月女児(9/25採取、37.6℃、手足口病)
A型インフルエンザウイルス (H1pdm09亜型)	鼻腔ぬぐい液	東灘	9歳男児(9/12採取、40.0℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	西	34歳女性(9/15採取、38℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	西	11歳女児(9/16採取、38.4℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔ぬぐい液	東灘	1歳6ヶ月男児(9/19採取、38℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)、家族内発生
RSウイルス	鼻腔ぬぐい液	北	1歳2ヶ月男児(9/25採取、39.8℃、RSウイルス感染症)
	鼻腔ぬぐい液	中央	2歳男児(9/26採取、38.8℃、RSウイルス感染症)、通っている保育所で複数の患者発生あり
環境保健研究所からのコメント： 上記のA型インフルエンザウイルス(H1pdm09亜型)4株について、抗インフルエンザ薬(オセルタミビル)の効果を調べる試験を実施したところ、全て感受性がありました。			

定点あたりのRSウイルス感染症報告数



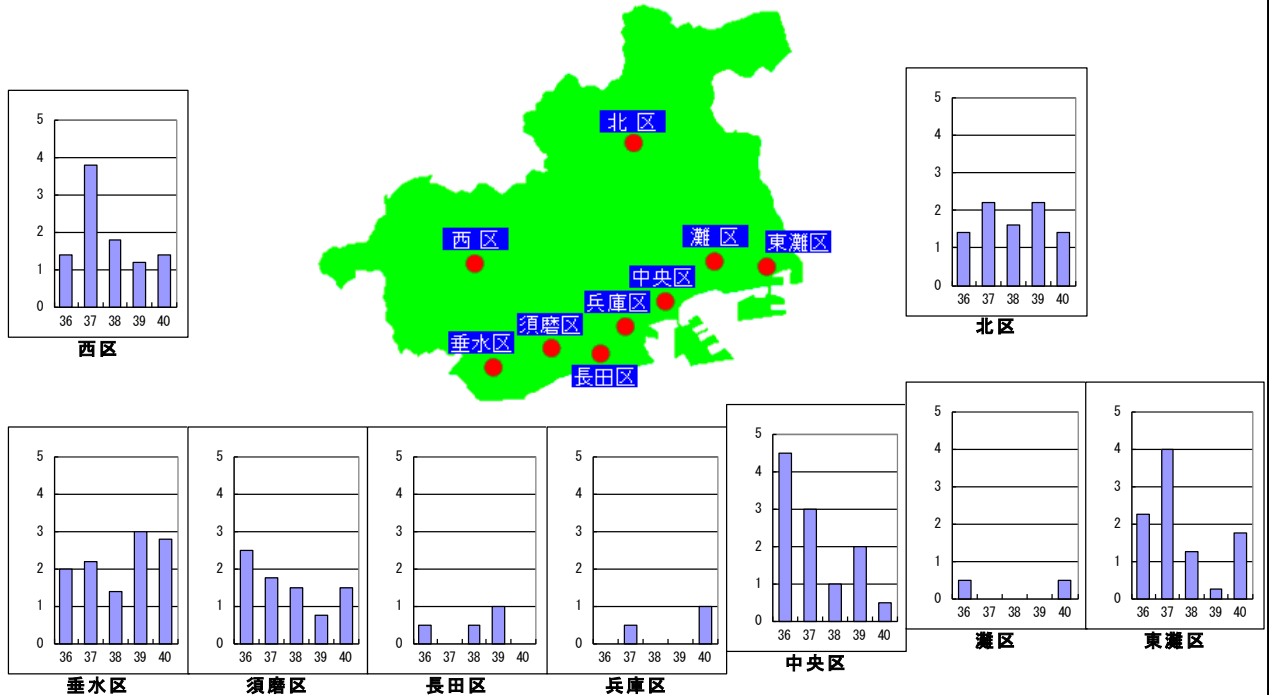
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 36 週 平成29年9月4日

～

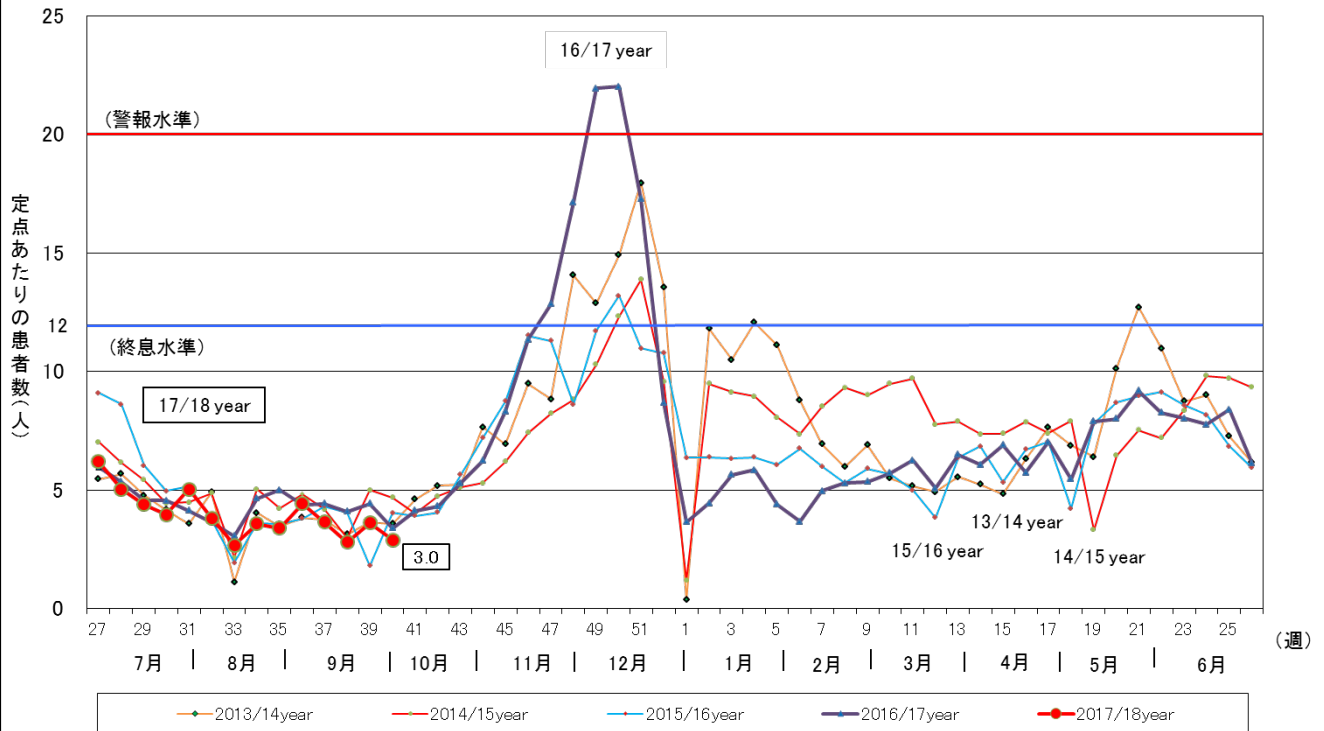
第 40 週 平成29年10月8日

RSウイルス感染症



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



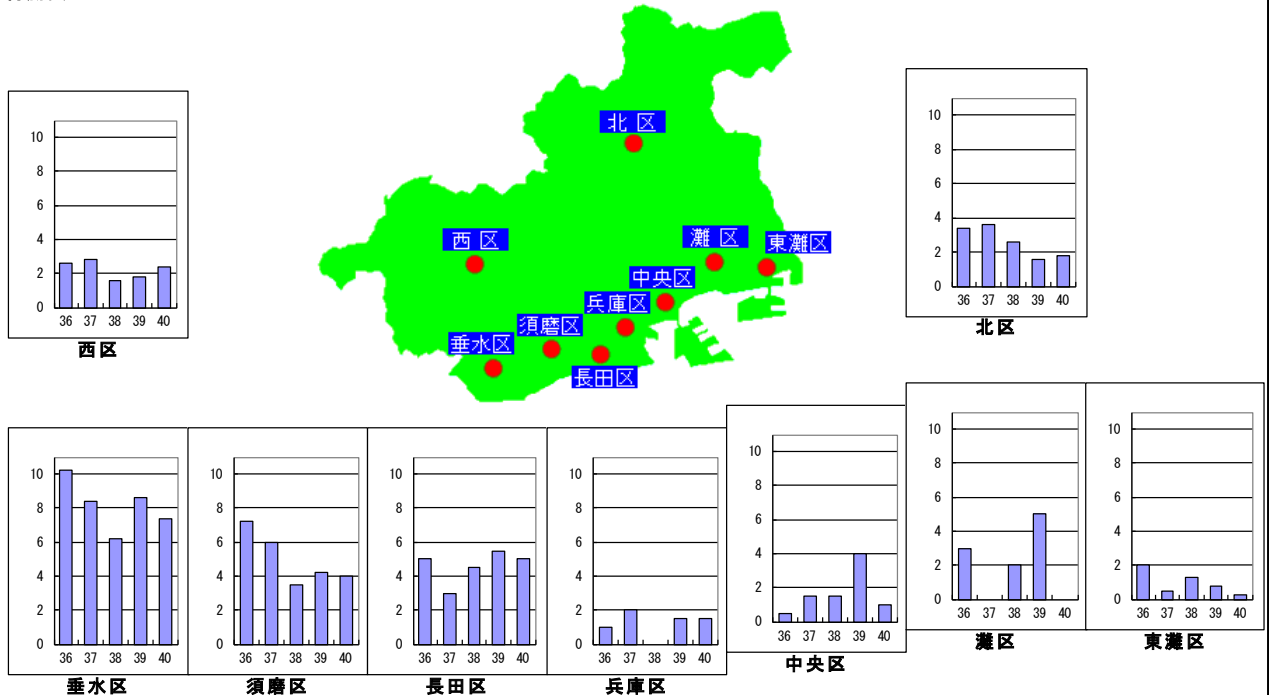
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 36 週 平成29年9月4日

～

第 40 週 平成29年10月8日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。